



平成 29 年 10 月 17 日

各 位

会社名 コムチュア株式会社
代表者名 代表取締役会長 向 浩一
(コード番号：3844 東証第一部)
問合せ先 常務取締役経営統括 野間 治
(TEL 03-5745-9700)

業績予想の修正および特別利益計上に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 10 月 17 日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 5 月 1 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想の修正の実施を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。併せて、平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の決算において特別利益を計上することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値の修正

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,000	百万円 710	百万円 710	百万円 470	円 銭 32.27
今回修正予想 (B)	7,843	783	799	625	42.95
増減額 (B - A)	843	73	89	155	-
増減率 (% B 対 A)	12.0	10.3	12.5	33.0	-
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (C) (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	6,104	605	602	406	27.92
増減率 (% B 対 C)	28.5	29.4	32.7	53.9	-

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 3 株の割合をもって株式分割を行っているため、前連結会計年度 (平成 29 年 3 月期) の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株あたり四半期純利益を算出しております。

(2) 業績予想の修正の理由

デジタルトランスフォーメーション時代の到来が叫ばれる中、企業の IT 投資は拡大基調にあり、当社グループの事業成長機会はこれまで以上に大きくなるであろうと認識しております。

当社グループにおいては、更なる成長に向けて事業展開を進めているクラウド・ビッグデータ・AI 事業の順調な業績拡大に加え、新たに立ち上げた RPA (ロボティック・プロセス・オートメーション) 事業の急拡大など、ビジネスは拡大基調で推移しております。

このような事業環境から、連結業績の第2四半期累計期間の売上高は、対前年同期比28.5%増の7,843百万円となる見込みであります（前回予想より843百万円増）。

利益面については、増収効果に加え、高付加価値化、生産性向上およびプロジェクト管理の精緻化により、営業利益では対前年同期比29.4%増の783百万円を見込んでおり（前回予想より73百万円増）、また連結子会社の株式売却益の発生により、親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年同期比53.9%増の625百万円を見込んでおります（前回予想より155百万円増）。

これらを踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益について前回発表の業績予想の修正を行うものであり、これらの業績予想値はいずれも、当社の過去最高値となる見込みでございます。

なお、平成30年3月期通期の連結業績につきましては業績予想を変更しておりませんが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 特別利益の発生について

平成29年8月29日付適時開示「連結子会社の異動（株式譲渡）に関する株式売買契約締結のお知らせ」に記載のとおり、当社は平成29年9月29日付で、連結子会社であるジェイモードエンタープライズ株式会社（以下、「ジェイモードエンタープライズ」という。）の全株式を譲渡いたしました。

本株式譲渡に伴い、平成30年3月期第2四半期累計期間の連結業績において、ジェイモードエンタープライズの連結上の簿価と交付された対価との差額による特別利益131百万円を計上する見込みとなりました。

（注）上記の予想値は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上